

高度情報化農業セミナー

「北海道農業の近未来と農業情報利用技術への期待」

【 開 催 要 領 】

【趣旨】

ここ数年の日本の農業を取り巻く状況の変化、すなわち国際的な市場開放の圧力、補助金に関する農業政策の転換、担い手の不足などによって、農地の大規模化、耕作放棄地などの有効活用、生産性の向上や効率性の高い営農形態への対応が求められております。このような農業情勢などを背景として、ITを活用した農業機械の利用が有用な技術として農家に認知され、農業現場における導入台数が急速に伸びております。今般、今後の北海道農業の姿を展望し、ガイダンスシステムやリモートセンシング技術を導入した農業の展開方向について、関係機関や団体の担当者及び農業生産法人等を対象としたセミナーを開催し、農作業の効率化や質の向上などについて解説するとともに、活用事例を紹介します。

主 催 北海道高度情報化農業研究会

後 援 北海道

受 付

【14:00～14:30】

開 会 北海道高度情報化農業研究会

【14:30～14:35】

講 演

(1) 基調講演

【14:35～15:15】

北海道立総合研究機構農業研究本部北見農業試験場 場長 志賀 弘行 氏

「北海道農業の近未来と農業情報利用技術への期待」

(2) 事例発表

【15:15～16:15】

前田農産食品 合資会社 専務取締役 前田 茂雄 氏

「本別町における可変施肥技術等精密農業の実践について」

【 休 憩 】

【16:15～16:25】

(3) 話題提供

【16:25～17:00】

酪農学園大学農食環境学群環境共生学類 准教授 小川 健太 氏

「農業分野におけるリモートセンシングの活用」

質疑応答

【17:00～17:25】

閉 会 北海道農政部生産振興局技術普及課

【17:25～17:30】

日 時 : 平成26年2月21日(金) 午後2時30分より

場 所 : 北農健保会館 3階会議室 (札幌市中央区北4条西7丁目1-4)

対 象 者 : 会員、農協担当者、行政関係者、一般の方

定 員 : 90名(定員になり次第締切させていただきます。)

参 加 費 : 会員は1,000円、非会員は2,000円を会場にて申し受けます。

(学生は、無料)

<事務局>北海道高度情報化農業研究会

事務局長 館 山 則 義

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目1-23

公益財団法人 北海道農業公社総務部内

TEL : 011-241-7551 FAX : 011-271-3776 e-mail : tateya@adhokkaido.or.jp